

# 社会資本整備総合交付金

(都市再生整備計画事業)

フォローアップ報告書

穴道地区

平成27年1月

島根県松江市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善の方向性	
指標1	%	65.3	32.7	14.2	確定 ●	○	あり		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(市)小宮田1号線「駅前広場」、照明施設(広場景観照明)の整備により、車道と歩道が分離され、夜間でも安心して歩けるようになり、歩行者の安全性が向上した。	
指標2	分	7	4	4	確定 ●	○	あり		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(都)宍道中央線、(市)宍道中学校線の整備により、駅南地区の東西間の国道9号線と国道54号線までの連絡が強化され、地区住民等の利便性・安全性が向上した。	
指標3	分	26	18	14	確定 ●	○	あり		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(都)宍道中央線、(市)宍道中学校線、(市)野原線の整備により、島根県立宍道高等学校と宍道駅間の連絡が強化され、生徒や地区住民の利便性・安全性が向上した。	
指標4	点	-2.46	2.30	-	確定 ●	×	あり	7.44	平成26年11月25日	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	松江市立しんじゅ保育園が完成したことにより、施設に関する満足度が大幅に向上した。	
指標5	%	45.2	22.6	17.1	確定 ●	○	あり		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	宍道駅前に駐輪場、観光案内板、公衆トイレを整備したことにより、駅利用者、地区住民等の利便性が向上した。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善の方向性	
指標1					確定 見込み		あり なし		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標2					確定 見込み		あり なし		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
指標3					確定 見込み		あり なし		平成年月日		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策 中央駅周辺の安全性・利便性の確保の持続	住民の意見を聞きながら、維持管理を行った。	道路、バス停車場、身障者駐車場、公衆トイレなど、定期的に管理を行うことで、歩行者が安全で快適に歩行できる空間が確保され、利便性が向上した。	今後も、住民の意見を聞きながら、適正に維持管理を行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応 ・その他 必要な改善策	(都) 中央線中央線の整備	(都) 中央線中央線の整備を行うための検討を行った。	(都) 中央線中央線の全線開通に向けた機運が高まった。 今後も、(都) 中央線中央線の早期全線開通に向け、機運のさらなる醸成を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

宍道地区

島根県 松江市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	しまね 島根県	市町村名	まつえ 松江市	地区名	しんじ 宍道地区	面積	83.7 ha
計画期間	平成 19 年度	～	平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度	～	平成 23 年度

### 目標

大目標：交通結節点(JR宍道駅)周辺の交通利便性・安全性と住環境の向上を図る

目標1	JR宍道駅前の安全性と利便性の向上並びに玄関口としての整備
目標2	JR宍道駅南地区の東西連絡強化並びに交通安全の確保
目標3	山陰本線南地区からJR宍道駅への連絡強化及び交通安全の確保
目標4	安心して子どもを産み育てられる住環境の整備

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本計画対象地区である松江市宍道地区は、宍道湖南岸で松江市の西端に位置し、中世には山陰街道と広島街道の結節点として人々が往来し、また本陣宿が置かれるなど、宿場町として発展をとげた。
- 明治以降は、明治11年に松江・宍道間を蒸気船が運航し、同42年には山陰本線・宍道駅が開設された。昭和12年には備後落合駅までの木次線全線が開通し、山陽方面への鉄道の玄関口となった。
- 近年になってからは、一般国道9号と54号の完成により、自動車交通の結節点の機能が加わったほか、至近への出雲空港(斐川町)の開港、山陰自動車道宍道ICの完成に加え、宍道JCTでの中国横断自動車道尾道松江線との接続など、現在も出雲地方の交通の要衝である。
- 行政機関や学校、金融機関、主要小売店が集中する宍道地区は、市街地が形成されており、旧宍道町において最も人口が集積した地域であるものの、商店の閉店や住宅等の郊外移転に伴い、空地や空家が増加傾向にある。
- 平成17年9月には、交通結節点という地理性などが評価され、JR山陰本線南側(県林業試験場跡地)に県立宍道高等学校の建設が決定し、平成22年4月開校を目指して事業が進められている。また、本計画の事業実施により、平成19年6月には地区内に住宅団地の建設も決定され、平成23年春の分譲開始が予定されている。駅南地区における主要事業であるこれらの計画によるJR宍道駅利用者の増加への対応と、東西の連絡強化が必要となっている。地区の立地環境は良いが、社会基盤の整備が遅れているのが現状である。
- 地区の東側には宍道中学校、西側には宍道小学校、宍道幼稚園があり、地区内を横断して通学している児童・生徒は多いが、歩道の未整備区間が多く、交通安全上の観点から通学・通園路の整備が必要となっている。
- 本地区のある宍道地域では、0～5歳児までの一貫した乳幼児教育を目指し、幼稚園・保育所の一元化について、平成9年度から一元化に向けた調査研究や構造改革特別区域認定などを受け、先進的な取り組みを行ってきた。平成19年3月には「宍道地域における幼稚園、保育所整備に関する研究会」において同報告がまとめられ、市長に提出されている。
- 住宅団地内に幼稚園建設用地の確保が可能となり、幼稚園・保育所役員会、幼稚園総会、地域協議会、自治連合会などにおいて、この団地内への幼保園整備について検討されたが、立地条件の良さや、現在の施設の老朽化に対する認識は共通しており、本計画地において早急に建設推進することで地域住民との合意形成がなされている。また、平成19年7月には「宍道地域幼稚園・保育所統合施設建設委員会」から、統合幼保園の早期整備に対する要望が市長に提出されている。

### 課題

- 課題1 現在のJR宍道駅前は歩行者と車両の分離やバス・送迎車両等の誘導が満足になされていないために無秩序な状態であり、歩行者・運転者双方にとっての安全性が確保されていない。また、駅前広場の整備が不十分のため、駅利用者にとっては利便性が低い状況にある。
- 課題2 県林業試験場跡地の東西間で交通が分断されており、この間の移動は、一旦国道9号へ出なければならぬうえに、踏切を横断する必要がある。特に西側の小学校、東側の中学校への朝の通学時は、通勤時間帯と重なり、また、歩道の未整備区間が多いことから、児童・生徒・一般交通の安全性・利便性が確保されていない。
- 課題3 平成22年4月の県立宍道高等学校の開校により、高校とJR宍道駅間の歩行者が確実に増加するが、アクセス道が未整備であり、通学者の安全性・利便性が確保できない。
- 課題4 地域の2つの幼稚園と1つの保育所の統合と子育て支援機能の付加により、未就学児の保育・教育と子育て世代に対する子育て・社会参加を総合的に支援したいが、現在の施設は築30年以上経過しており、老朽化や施設規模・機能の面に対応できない。JR宍道駅周辺から本地区の現在の幼稚園・保育所への通園経路には歩道がないうえに踏切があり、通園・送迎者の安全性が確保されないほか、統合により増加する送迎車両の周辺道路上への滞留が予想され、現地建替えも困難である。

### 将来ビジョン(中長期)

#### 交通利便性を活かした定住基盤と教育拠点を整備した市街地形成を図る。

- ・「出雲・宍道湖・中海地方拠点都市地域基本計画(H9.3)」における拠点地区内であり、そのなかで重点的に実施すべき事業として「JR宍道駅周辺広場整備」が挙げられている。
- ・市町村合併(H17.3)で策定された「新市まちづくり計画」において、地域の個性・魅力を伸ばすことを目的とした「8つのプロジェクト」を掲げ、このうち宍道町については、「西の玄関口として交通利便性を活かした定住基盤と教育拠点の整備」を整備方針として示している。また、同計画の主要施策として「宍道地区拠点整備事業」が挙げられている。
- ・停滞する宍道地区の活性化を図るため、当該地区の玄関口であるJR宍道駅を中心とした駅周辺整備について、平成16年3月に地元住民代表等により「宍道町中心市街地まちなみ整備報告書」が作成され、駅前の民間企業跡地の利用と駅前広場・跨線橋の整備による拠点形成の提案がなされている。
- ・宍道駅周辺の整備は、中期的には駅周辺の基盤整備、駅南地区東西の連絡強化及び駅へのアクセス性の向上を図り、長期的には(街)宍道中央線を国道9号まで接続して地区の南北の一体化を図ることで、恵まれた立地条件を活かしたまちづくりを行う方針である。
- ・「松江市総合計画(H19.9)」において、子育て支援策として、就学前児童の教育・保育環境の充実のための幼保一元化の推進などが挙げられている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 駅前広場で危険を感じる割合	%	駅前広場において車の走行が危険と感じる人の割合	駅前広場に危険性を感じる人の割合を50%減少させる。	65.3	H17	32.7	H23
2. 駅南地区東西間の連絡強化	分	(市)宍道中学校線～(市)宍道中央線の国道9号接続部から国道54号接続部までの車両移動時間	駅南地区の東西の車両移動時間を40%短縮させる。	7	H18	4	H23
3. 駅南地区と宍道駅間の連絡強化	分	宍道高校～宍道駅までの歩行移動時間	駅南地区と宍道駅間の歩行移動時間を30%短縮させる。	26	H18	18	H23
4. 未就学児の教育・保育施設の満足度	点	教育・保育環境に関する保護者の評価点数	現在の幼稚園・保育所に対して、「不満」「どちらかと言えば不満」「どちらとも言えない」と回答した保護者を半減させる。	-2.46	H19	2.30	H23
5. 駅前広場が不便と感じる割合	%	駅前広場が不便と感じる人の割合	駅前広場が不十分で不便と感じる割合を50%減少させる。	45.2	H17	22.6	H23

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1 (JR宍道駅前整備)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の無秩序なJR宍道駅前広場の整備を行い、利用者の安全性、利便性を確保する。</li> <li>地域の玄関口に相応しい駅周辺環境を整備する。</li> </ul>	<p>道路(基幹事業/市)小宮田1号線、(市)小宮田1号線「駅前広場」                      地域生活基盤施設(基幹事業/駅前広場駐輪場、駅前広場観光案内板)                      高質空間形成施設(基幹事業/駅前広場公衆トイレ)                      高質空間形成施設(基幹事業/市)小宮田1号線、(市)小宮田1号線「駅前広場」                      高質空間形成施設(基幹事業/照明施設(広場景観照明))</p>
<p><b>整備方針2 (JR宍道駅南地区の東西連絡強化並びに交通安全の確保)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道9号、54号方面と駅南地区間の移動性の向上を図る。</li> <li>駅南地区の東西間の移動経路を整備し、小中学生の通学時の安全性、利便性を向上させる。</li> </ul>	<p>道路(基幹事業/都)宍道中央線、(市)宍道中学校線                      地域創造支援事業(提案事業/歩道照明整備事業)</p>
<p><b>整備方針3 (県立宍道高等学校ならびに駅南住宅団地とJR宍道駅の連絡強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立宍道高等学校ならびに駅南住宅団地とJR宍道駅間の移動経路を整備し、その安全性、利便性を向上させる。</li> </ul>	<p>道路(基幹事業/都)宍道中央線、(市)宍道中学校線                      学校整備(関連事業/県立宍道高等学校整備事業、島根県)                      道路(関連事業/市)野原線整備事業)</p>
<p><b>整備方針4 (住環境の整備)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宍道地域の中央に位置し、最も交通利便性が高い本地へ、地域内にある3つの幼稚園・保育所を統合・移転整備し、保護者の就労等に関係なく、子どもを安心して預けることができるようにすることで子育ての支援を行う。</li> </ul>	<p>地域創造支援事業(提案事業/しんじ保育園【保育所部分】)                      道路(基幹事業/都)宍道中央線、(市)宍道中学校線                      幼稚園整備(関連事業/しんじ保育園【幼稚園部分】、松江市)                      住宅団地整備(関連事業/宍道駅南住宅団地整備事業、島根県住宅供給公社)</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業実施にあたっては、市としては、計画の全容や策定の経緯を熟知している計画策定担当課が中心となり、事業実施担当課と定期的な情報交換の場を設け、事業間および地元、並びに関連事業者との調整を図る。なお、地元においては「宍道駅周辺整備促進協議会」を設置(H21年7月30日)し、事業計画等についての協議・調整を行っている。</li> <li>●事後評価時には再び住民等にアンケートを実施するが、県立宍道高等学校開校に伴う効果についても質問し、検証のうえ、まちづくりへの活用についての資料とする。</li> <li>●駅前広場については、地域のまちづくり活動団体がイベント等での活用を計画している。</li> <li>●松江市全体の幼稚園、保育所のあり方については、「松江市立幼稚園・保育所(園)あり方検討委員会」が設置され、幼保園の整備や複数の小規模園の統合などの方向性が出された。これを受け、本地区を含めた幼稚園、保育所の整備に関して「宍道地域における幼稚園、保育所整備に関する研究会」から、地域全域の就学前児童が、一体的な教育・保育が受けられるよう「幼保園」として整備すべきとの報告がまとめられている。また、このなかで子育て相談や支援に対しての積極的な対応ができる機能の付加についても述べられている。</li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

しんじ しまね まつえ 宍道地区(島根県松江市)	面積	83.7 ha	区域	松江市宍道町宍道908番地 ほか
--------------------------------	----	---------	----	------------------

